

令和8年度地域に飛び出せ大学生！おかやま元気！集落研究・交流事業 応募用紙

1. おかやま元気！集落名及び集落代表者

集落名	吉備中央町旧高富小学校区 (旧高富小学校区みんなで支え合う地域づくり協議会)	代表者	(事務局) 黒田 員 米
-----	---	-----	--------------

2. 集落の現在の状況・課題

典型的な中山間地域であり、地域内には既に消滅集落となった場所もある。戸数は約80戸。人口は約140人程度。過去には岡山県の実施する元気集落事業に初期から参加をして各種活動を積極的に実施してきたが、時の流れと共に活動の中心メンバーの高齢化などにより現在では活動は停滞している。特に地域内の移動手段と福祉対策が課題となっている。

3. 大学からの企画・立案を受けて取り組みたい事業内容について、①.現状について(課題感など)、②.最終的に達成したい目標、③.「②.最終的に達成したい目標」を達成するために令和8年度に集落として取り組みたいことをそれぞれ記入してください。

<p>【取り組みたい事業内容】</p> <p>①.現状について(課題感など) 特に福祉対策が必要と感じている。高齢化する中、事業を展開し役割を担ってもらうことで地域の交流機会を創出し、閉じこもりの防止と、生きがい・役割意識の向上を図っていきたい。</p> <p>②.最終的に達成したい目標 地域の宝(地元酪農家の牛乳等)を活かした、新しい特産品開発を検討し、地域にとって少しでも収入を得ることで元気になることを目標とした。 最終的には特産品を完成させ、販売できる形にしたい。</p> <p>③.「②.最終的に達成したい目標」を達成するために令和8年度に集落として取り組みたいこと 最終的には特産品を完成させ、販売できるまでにしたい。 そのために必須の、保健所等の制約をクリアしていきたい。</p>
--

4. 3.での回答を踏まえて、若い視点や発想を持った学生と専門的な知識を持った大学の教員に、どのように集落や事業内容に関わってほしいか記入してください。

<p>大学生に参加していただき、若い柔軟な考え方や、地域外からの目線により地域を今一度視察していただき、長年暮らす地域住民では気づかない、あるいは日常化してしまった地域内の宝(財産)を一緒に探してほしい。その結果を踏まえた特産品開発など、幅広い商品化の可能性を検討してほしい。</p>
--

5. 連携を希望する大学があれば記入してください。(指定が無い場合は、公募となります。)

大学名		研究室名	
-----	--	------	--

6. 市町村連絡先

市町村名	吉備中央町	所属・役職・氏名	協働推進課 主任 根本喜代香
電話番号(直通)	0866-54-1301	E-mail	kvoudou@town.kibichuo.lg.jp